

三体千字文を書く(12)

締切り 十二月二十日(必着)



奥村憲照先生書

□作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穩健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

金生麗水
玉出崑岡

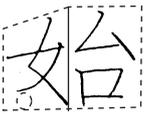
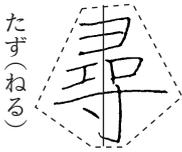
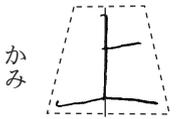
金は麗水という川底からとれ、水晶やめのう玉は崑崙の山からとれた。(岡＝崗)

準初段から六段まで

新入から1級まで

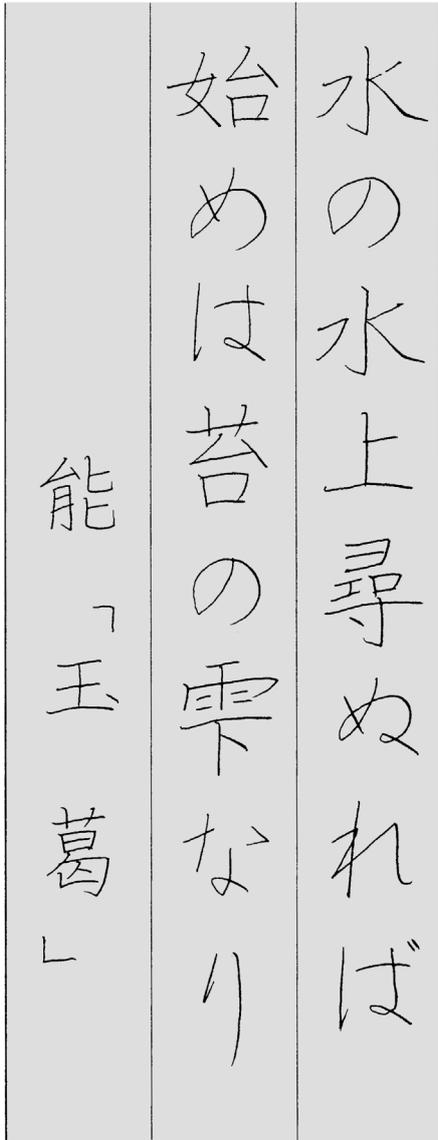
〔解説〕

〔解説〕



◎楷書は一点一画でいねいな運ペンが大切。運ペンの速度が速すぎると方向がうまくいかなかったり、線の長さが伸びすぎたりする。ペンは遅すぎず速すぎず、なめらかに引くことを頭において、運ペンの練習をする。

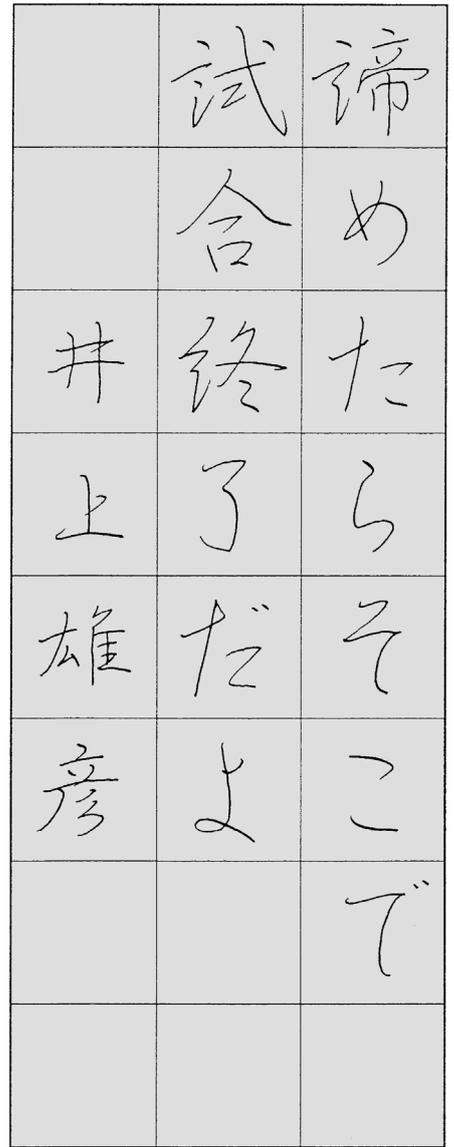
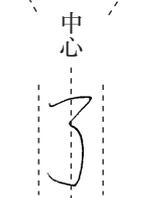
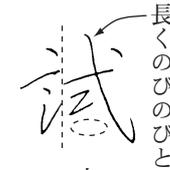
▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。



おか だ 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



おお たに せい じょう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★諦め…(書体||行書)

井上雄彦(一九六七〜)
現代日本の漫画家

中学・高校のバスケットボール部を題材にした漫画「スラムダンク」は、一九九〇年からの売り上げが、世界で累計一億部を超えるベストセラーとなりました。

監督がかけたこの言葉で奮起した選手たちは、大逆転勝利を成し遂げるのでした。

◆1月課題予告(楷書)

貧乏を除くには
働くことが
最良の薬である

★水…(書体||楷書)

能「玉葛」の一節
川の水源を訪ねていってみると、その水源は苔から滴り落ちる一滴の小さな水の雫なのです。大きな成功の元をたどれば、ほんの小さな思いつきから始まったということも多くあります。何ごとも初めは小さな種ですが、それを追い求め続ければ立派な実となるのです。

◆1月課題予告(行書)

愛は時の威力を破り
未来と過去とを

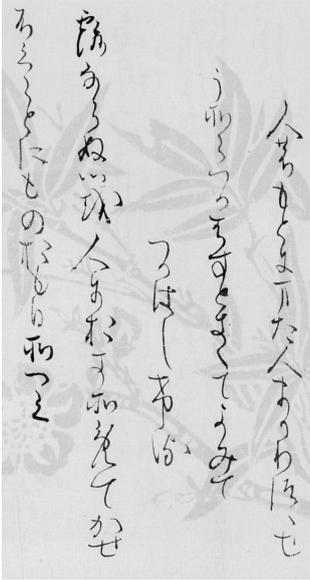
永遠に結び合わせる

▼教範・書範||楷書

▼師範||行草または草書

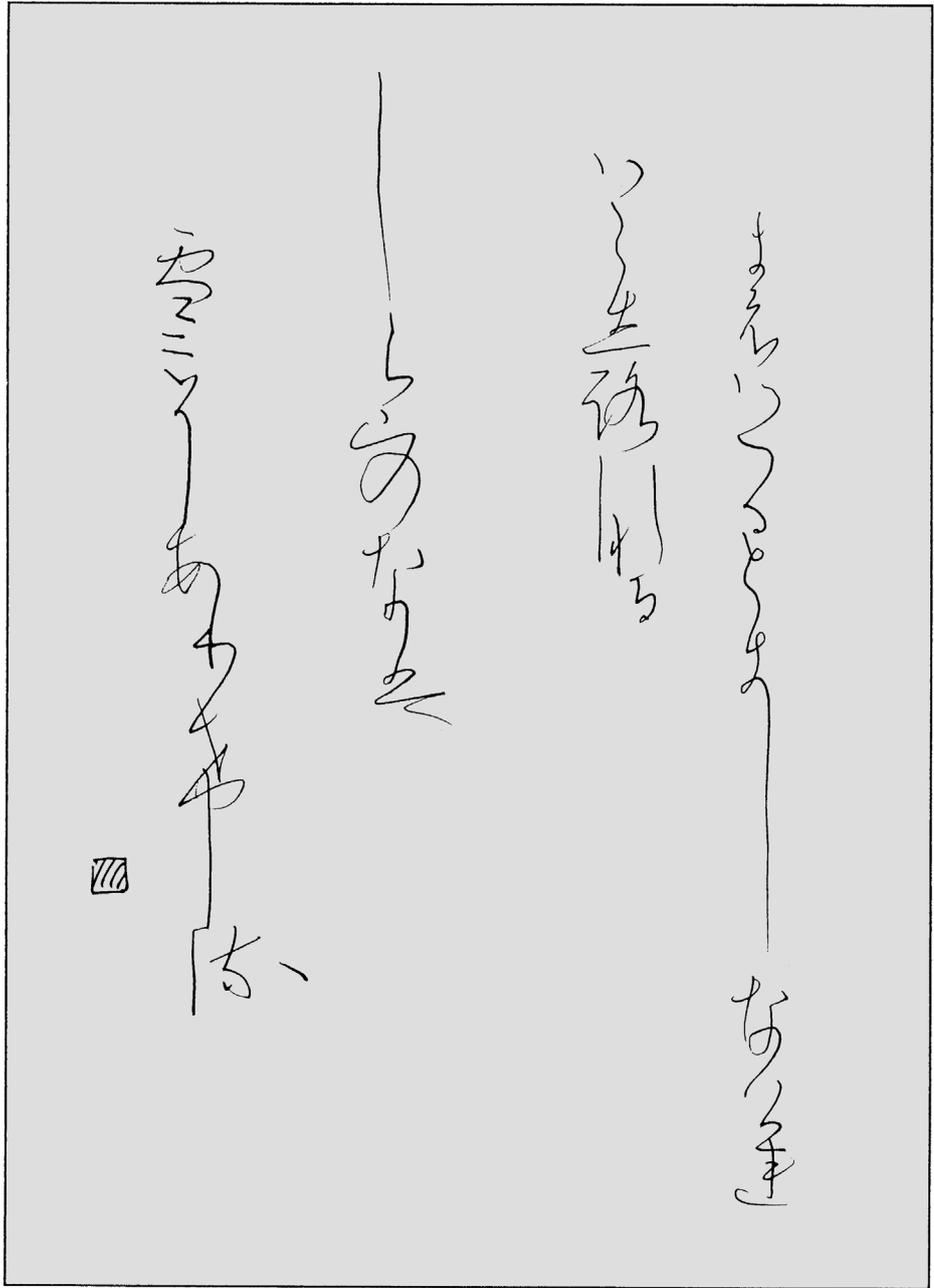
〔古筆参考〕

ほんあみぎれ
本阿弥切



締切り 十二月二十日 (必着)

築瀬舟香書



農 万 可利徒
人のもとにまた人まかりつゝせ
所 可者
うそこつかはすときて、よみて
露 奈 越 爾 於 支 所 免
露ならぬ心を人におきそめてかせ
不 ぐ こと にも の お も ひ ぞ つ く

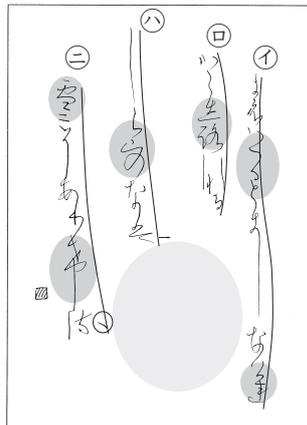
消えはつる時しなれば越路なる
白山の名は雪にぞありける
射恒
介 連 八 志 那
利 希 流

〔歌意〕一年中、雪の消えてしまふ時がないから、北陸路にある白山の名は、雪にちなんで白とつけられたのだ。

〔出典〕古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧、⑨と⑩、⑪と⑫、⑬と⑭、⑮と⑯、⑰と⑱、⑲と⑳、㉑と㉒、㉓と㉔、㉕と㉖、㉗と㉘、㉙と㉚、㉛と㉜、㉝と㉞、㉟と㊱、㊲と㊳、㊴と㊵、㊶と㊷、㊸と㊹、㊺と㊻、㊼と㊽、㊾と㊿、
- それぞれ呼応。
- 大きな間大切。
- 行の中の密の動き大切。
- ↙ の方向注意。
- ・ の点の位置大切。

本阿弥切に見る美しい間

毎月手本解説に「大きな間」と書いていますが本阿弥切の中の短い行が、全体の面の中で果たす効果を見逃す事が出来ません。短い行を上部や下部に入れる事で行間の余白が大きな力を発揮するのです。この技はペン字の中に大いに取り入れたいものです。

参考資料「日本書道辞典」

「古筆に学ぶ」共に二玄社

◆1月課題予告

山ふかみなほかげ寒し春の月
空かきくもり雪はふりつゝ、

(新古今和歌集より)

締 切 り 1 2 月 2 0 日 (必 着)

自 由 課 題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 課題手本を二種類掲載しましたが、皆さんのアイデアを生かして自由に創作してください。

一月一日

新年の
およろこびを
お祈り申し上げます

本年もどうぞよろしく
お祈り申し上げます

ついでに新年のおよろこびを申し上げます
本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます

謹賀新年

お健やかに初春をお迎えの
年
多幸とますの活躍を
心よりお祈り申し上げます
平成二十五年元旦

横 書 き 課 題

お 岡 じ ま 嶋 け い 桂 せん 川 書

日本にスキーが伝えられたのは、
明治44年だと言われている。
新潟県系魚川市 氏 名

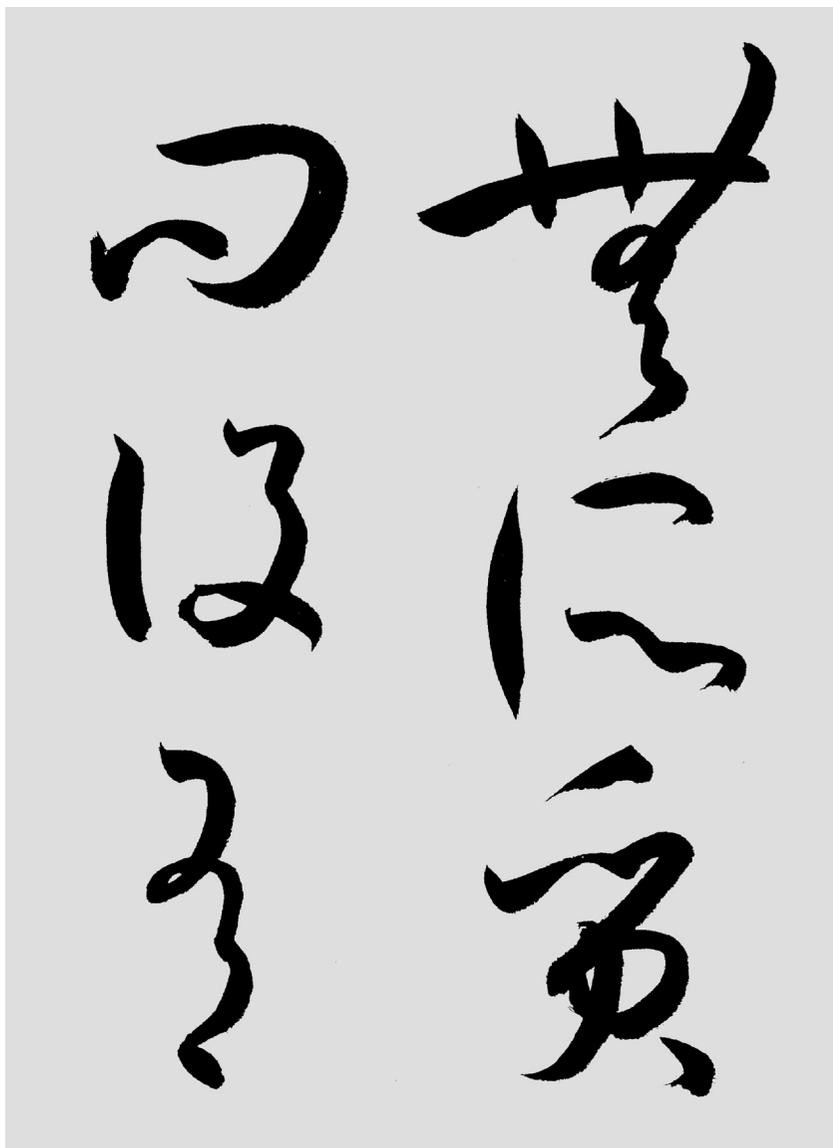
※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月20日 (必着)

無
所
質
問
設
有

無
所
質
問
設
有

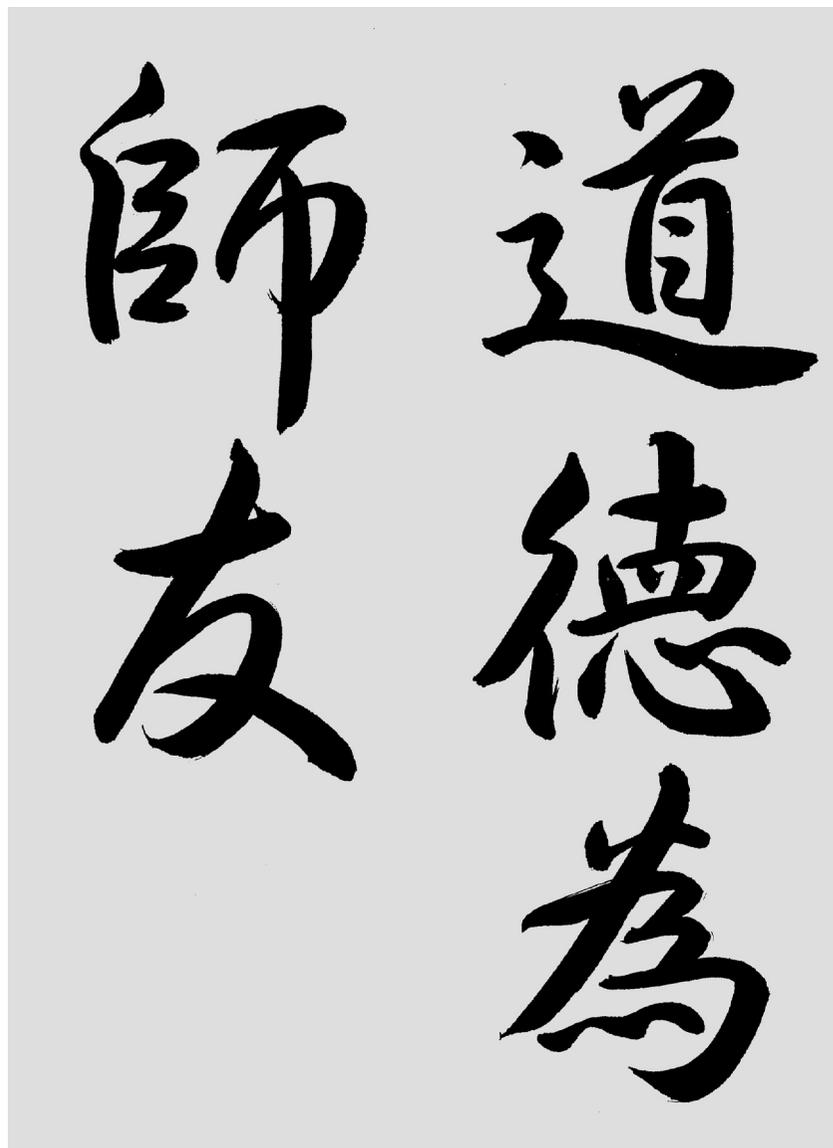


〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕^{ただ}質し^{たと}問う所^{かい}無し。設い(会する所)有るも

準初段から師範まで

奥^{おく}村^{むら}暢^{のぶ}之^{ゆき}臨



〔読み〕道德^{しゆう}を^な師友と為す

〔大意〕人は道德を以って師とも友とも思わねばならぬ。

新入から1級まで (行書)

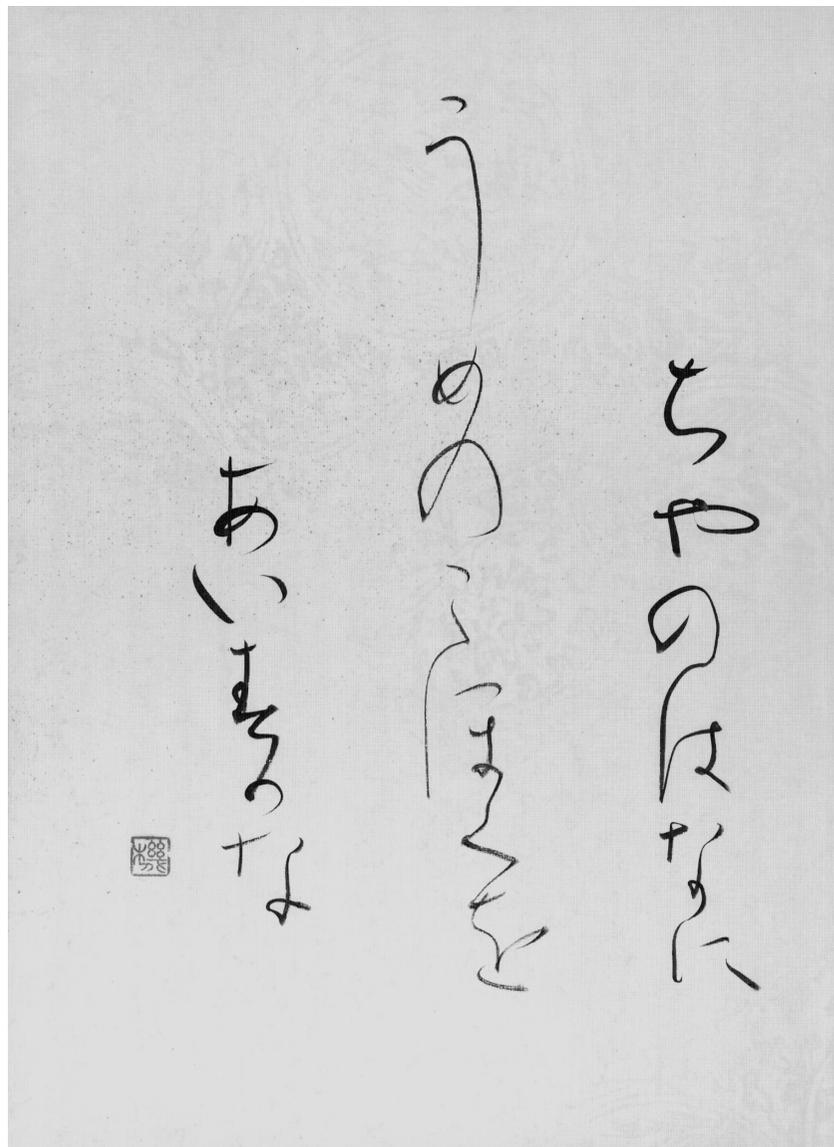
澤^{さわ}静^{せい}雨^う書

一般部毛筆かな課題

締切り 12月20日 (必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

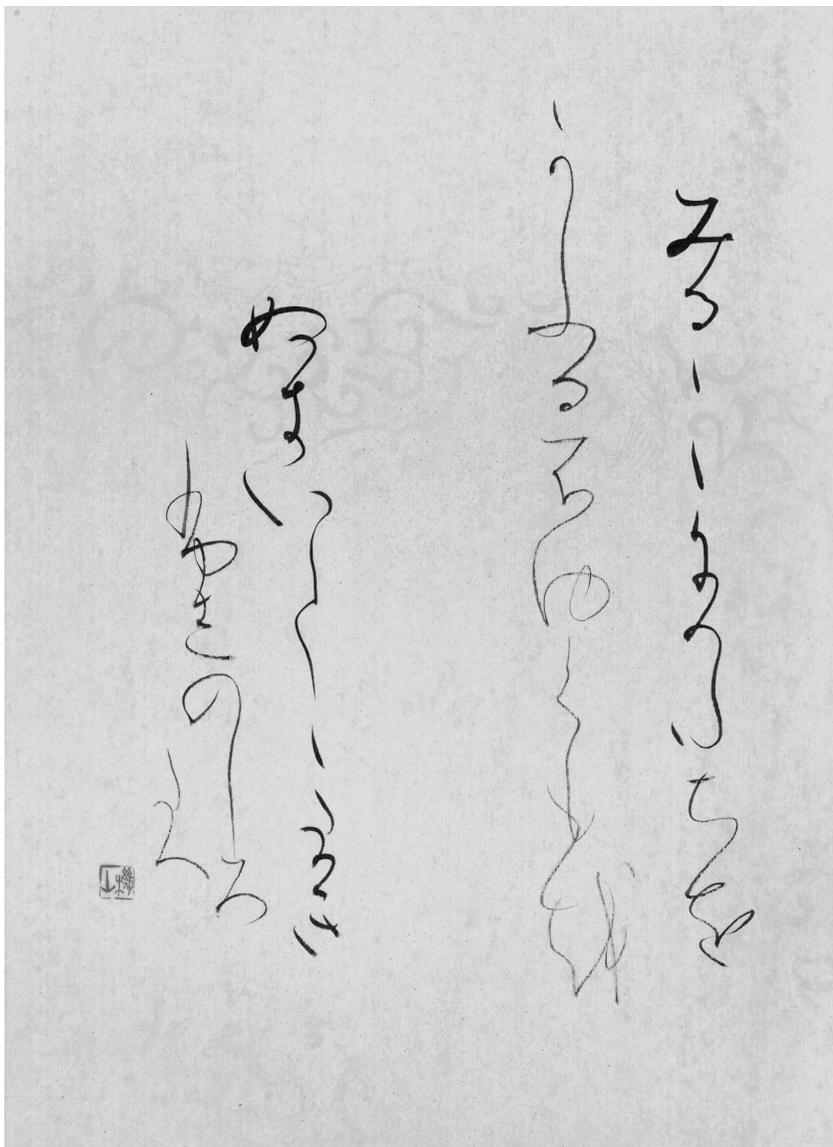


※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

茶の花に梅の古木を愛すかな

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



※検定試験三段〜教範コースを兼ねる。

見る見るうちに形を変えてゆく冬雲を
抜きいでて高々と富士の嶺の真っ白なことよ

〔出典〕 若山牧水

〔歌意〕 見る見るうちに形を変えてゆく冬雲を抜きいでて、高々と富士の嶺の真っ白なことよ。

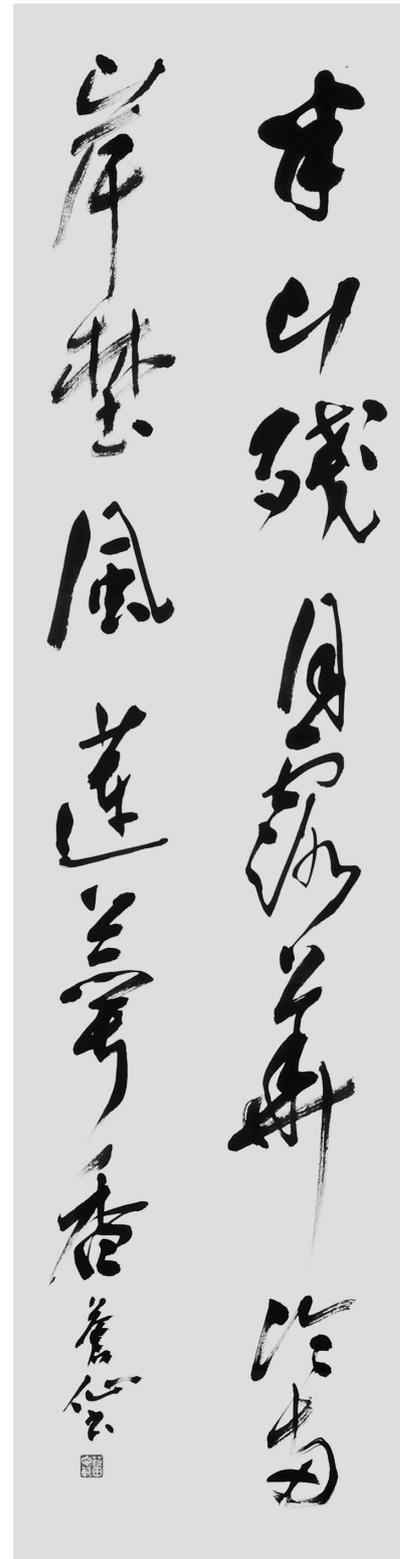
〔出典〕 正岡子規

〔句意〕 茶の植込みの傍らに立っている梅の古木。その地味な茶の花に、梅の古木はまことに枯淡で似つかわしい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月二十日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



荻田蒼仙書

半山残月露華冷
 両岸野風蓮香
 (大意) 山の一方にか
 かった夜明けの月に白
 くおく露は冷たく、両
 岸に吹く野への風は蓮
 の花を渡って香りよい。
 初出品の方へ
 支部名・会員番号・
 姓名・毛筆漢字成績
 を、作品左下に必ず
 お書き下さい。

ご婚約おめでとう 最高の朗報を

伝える時そ誰でも声か弾むもの

なのね私もつい一日中ハミング

してましたお祝い楽しみに

山田 壱子

書 華 玲 田 壱 樋

半紙 (334mm×240mm)

〔条幅解説〕 作例は自分の発表の場ではないだけに、ある制約の中で景色づくりを考えます。変化と統一を考えながら枚数を重ねました。皆さんは発表の場ですから、作例に縛られる事なく工夫して存分に書いて下さい。師、先輩の批評を頂く事が上達の条件です。

ご婚約おめでとう 最高の朗報を
 伝える時って誰でも声か弾むもの
 なのね 私もつい一日中ハミング
 していました お祝い楽しみに

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

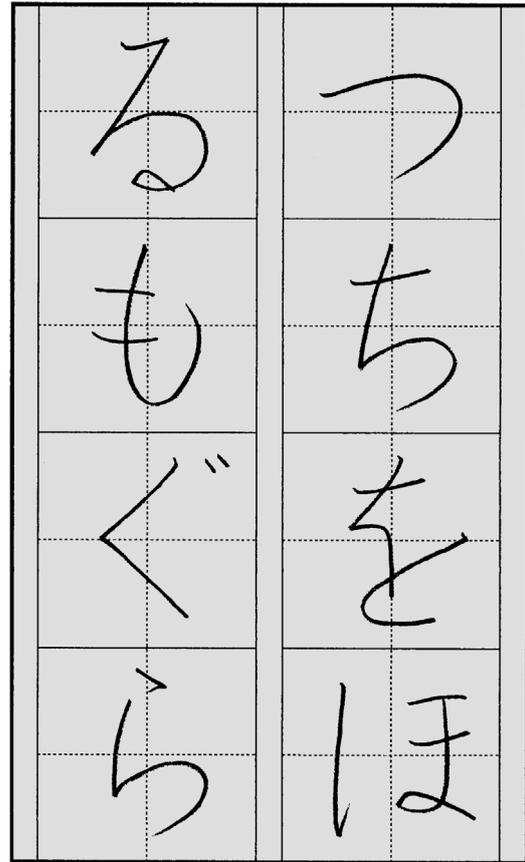
■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。

ます。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

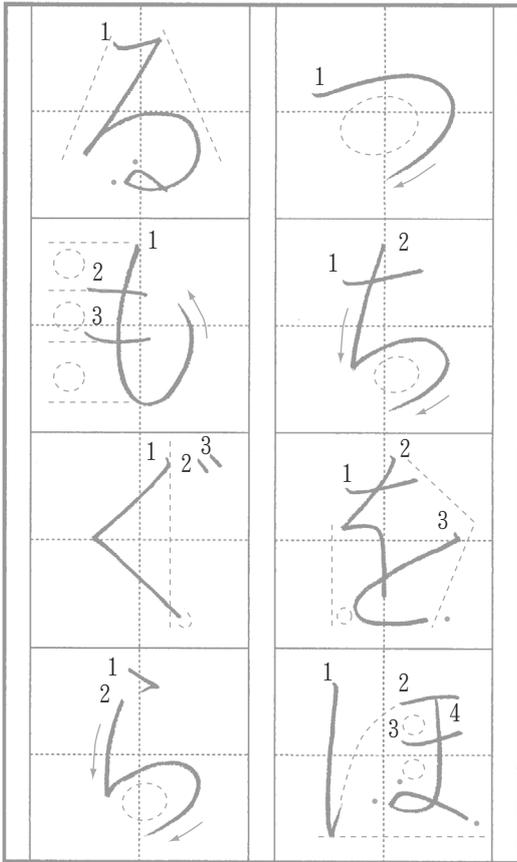
※検定試験三段コースを兼ねる。

よ
う
年



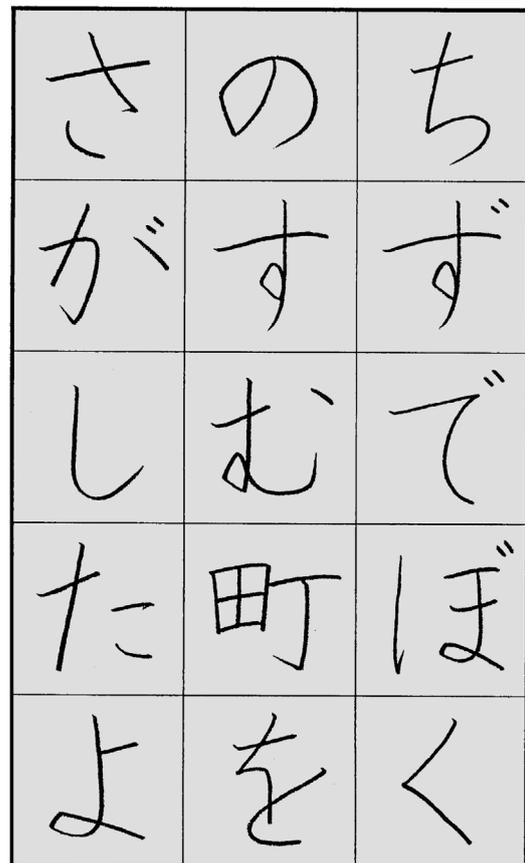
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



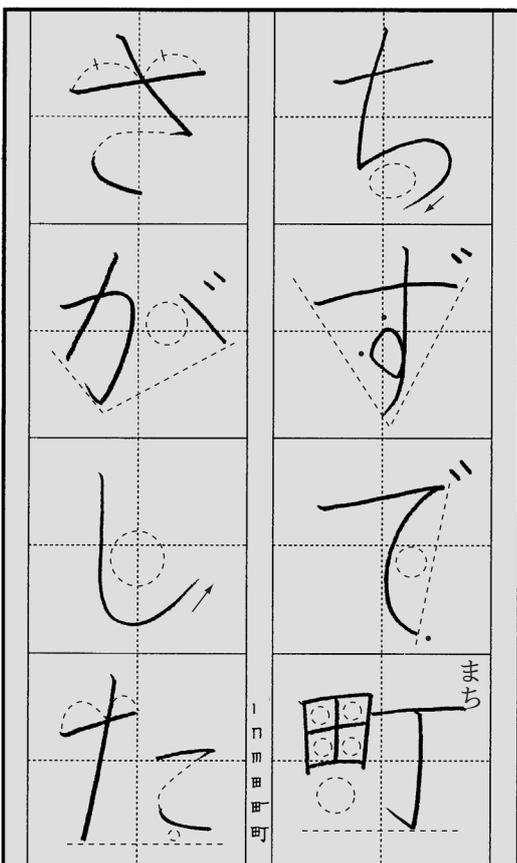
〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級



幼年〜小三年 三宅容玉書

準初段以上

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)

て	百
交	円
番	も
へ	っ

新入1級

っ	た	弟
て	百	が
交	円	ひ
番	を	ろ
へ	も	っ

準初段以上

小二年

準初段以上

見	お
て	手
練	本
習	を

新入1級

も	く	お
練	見	手
習	て	本
す	何	を
る	度	よ

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

が	ノイ白白白	白	しら
大	ダイ	雪	ゆき
成	セイ	ひ	
功	コウ	め	

新入1級

め	つ	案
が	た	を
大	白	出
成	雪	し
功	ひ	合

小四年

準初段以上

小四以上 須田一葉書

営	いとなむ	父	ちち
料	リヨウ	兄	あに
理	リ	夫	フウ
店	テン	婦	フ

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

料	が	父
理	営	の
の	む	兄
お	日	夫
店	本	婦

小五年

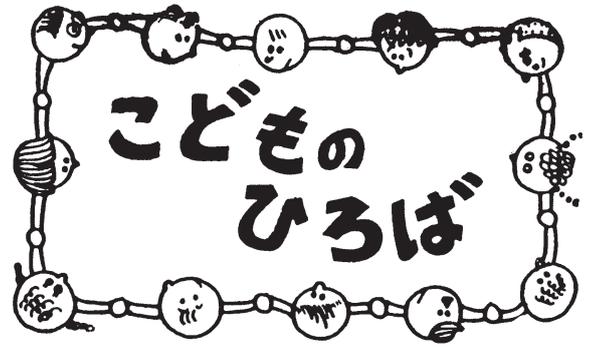
(全員)

▼小三年以下の課題 か とう こう すい 加 藤 紅 水 書

	一 <small>いち</small>								明 <small>あ</small>
	月 <small>がつ</small>								け
	一 <small>いつ</small>	遊 <small>あそ</small>	年 <small>とし</small>	め	で	と	う	ま	し
	日 <small>たち</small>	ぼ	も	と	う	う	う	て	て
		う	た						
		ね	く						
	名 <small>な</small>		さ						
	ま		さん						
	え								



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 12月20日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 しも じょう しゅん そう 下 條 春 桑 書

	元 <small>がん</small>								賀 <small>が</small>
	旦 <small>たん</small>	申 <small>もう</small>	よ	本 <small>ほん</small>	年 <small>ねん</small>	も	ご	指 <small>し</small>	春 <small>しゅん</small>
		し	ろ	年 <small>ねん</small>	も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>	
	氏 <small>し</small>	上 <small>あ</small>	く	も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
		げ	お	も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
		ま	願 <small>ねが</small>	も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
		す	い	も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
	名 <small>めい</small>			も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
				も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		
				も	ご	指 <small>し</small>	導 <small>どう</small>		

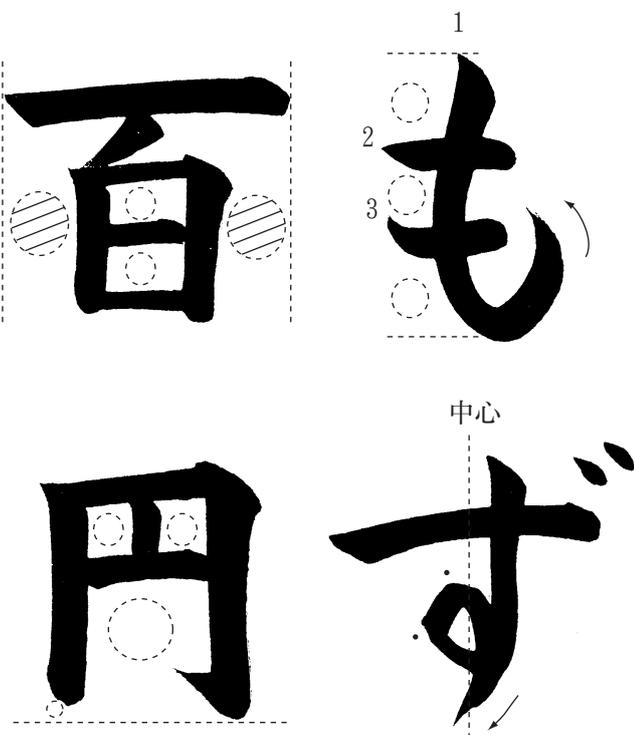


◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





小五
料日
理本

本お
手
小三

雪
料理
手本白

小四
ひ白
め雪

小三、小五年
水野の香竹書



小六、中二・三年
奥村暢之書



点を忘れない



第63回 毛筆検定試験受験要項

12月20日締切り

■ 受験にあたってご注意

▼ 検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼ 一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■ 出品方法

▼ 作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼ 検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼ 支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配布時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同送して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼ 封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼ 受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

● 締切 平成二十四年十二月二十日(本部必着)

● 送り先 大書心会検定試験係

● 発表 平成二十五年三月号

▼ 肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の毛筆担当の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※ 条幅の原寸大のコピー手本はありません。

一般部1級・三段コース

漢字半紙	一、〇〇〇円
細字・かな	一、五〇〇円
漢字半紙	一、二〇〇円
条幅	三、五〇〇円
細字	一、七〇〇円
教育	八〇〇円

活字課題 五段コース以上
会友コース

漢字半紙	一、〇〇〇円
細字・かな	一、五〇〇円
漢字半紙	一、二〇〇円
条幅	三、五〇〇円
細字	一、七〇〇円
教育	八〇〇円

◆ 一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1		3	1,500円
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2,000円

[三段コース漢字課題]

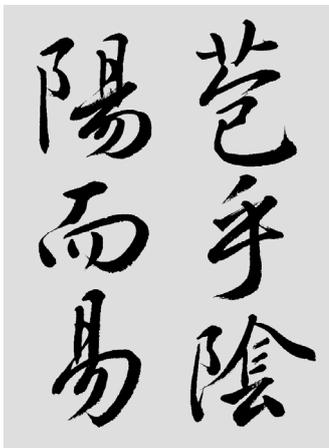
[1級コース漢字課題]

《集字聖教序》

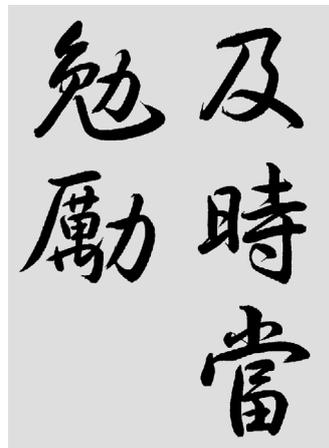
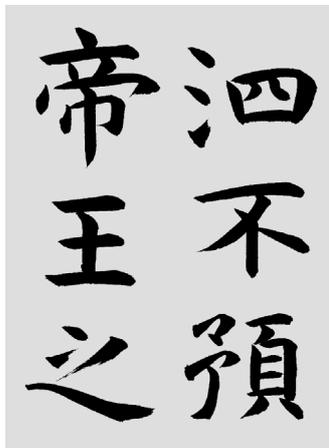
《孔子廟堂碑》

《行書》

《楷書》



神谷葵水先生臨



澤 静雨書



時に及んで当に勉勵すべし

コース	課題	受験資格	最高昇段位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500円
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000円
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000円
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	400円
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	700円

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。(P23参照)

▼書譜



而淳醜一遷質

▼集字聖教序



識者以其有像

▼孔子廟堂碑



聖固天縱以挺

漢字 五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

五段・書範・教範コース課題

五段・書範・教範コース受験のきまり

一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を
取得されても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の
対象から除きます。
一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無
効になります。

乗馬
(行書)

▼会友コース課題

十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

小 1

むれ

小 6

校舎の窓

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

年の瀬も押し詰まって参りました
その節は大変お世話になり有難う
ございました 心ばかりの品ですが
お届けします ご笑納下さいませ
(ご自分の名前)

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎見る見るにかたちをかふる冬雲を抜きいでて
高き富士の白妙
若山牧水 ※P8参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

細雨寒燈初夢短
断猿枯木一聲長

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてくだ
さい。